備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

（平成17年度事業）

施策名（小項目）	その他事務管理（職員）	コード	担当課	総務課
		06-01-15	電話	64-1807

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系		
	大項目（基本目標）	健全で自立したのまちづくり
	中項目（基本施策）	簡素で効率的な行財政運営

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	地方公務員法第42条に基づき、職員の福利厚生を図り、その能力が最大限に生かせるようにする。
② 市民ニーズ (反応、問合せ等)	内部管理部門だが、職員が健康でその持っている能力を業務に対して最大限に発揮できれば、コスト削減につながり、市民サービスも向上する。
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	合併や、社会情勢の変化から、職員にかかるプレッシャーが増大し、ストレスを溜め込む職員が増え、健康を害する職員が出ている。
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	・ 職員健康診断 ・ 職員健康相談（メンタルヘルス） ・ 体育大会などの保健事業 ・ ・ ・ ・

⑤ 施策成果指標の検討・設定（基本目標・基本施策・施策意図から検討する）

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
職員健康診断	健康診断の受診率	1
職員健康相談（メンタルヘルス）	休職者数（病気休暇）	2
体育大会などの保健事業	保健事業の参加者数	3
職員表彰事業	被表彰者数	4

	施策に対する成果指標名		単位	評価年度 H17			目標値 H23	目標値 H28	ベンチマーク	指標の説明
1	健康診断の受診率	目標	%	100.0						受診者数／対象者数
		実績	%	99.0						
		達成率	%	99.0						
参考1	休職者の率	目標	%	1.0						休職者数/全職員数
		実績	%	2.3						
		達成率	%	232.9						
参考2	保健事業の参加者数	目標	人	232.0						30%の参加を目指す
		実績	人	142.0						
		達成率	%	61.2						
参考3	被表彰者数	目標	人							
		実績	人	25.0						
		達成率	%	#DIV/0!						

市民意識調査結果	施策名	調査年度		H18	H19	H20	H21	H22
		重要だと思っている市民の割合	%					
		満足している市民の割合	%					

⑥ 施策構成事務事業の評価

担当課長評価

	施策を構成する事務事業名（ ）はその人件費（単位：千円）	事務事業評価結果 A ～ E (高 ～ 低)	細事業一覧表	直接事業費（単位：千円） 17年度事業費			優先順位 (A～C)
1	福利厚生事業 (5,130)	C	表彰事務事業	1,221			C
			厚生費補助事務事業	1,873			B
			健康相談事務事業	90			B
			健康診断委託事務事業	2,224			A

この施策に要した費用（人件費込、単位：千円）	H17		
	10,538		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明

⑧ 施策の評価

5：非常に高い　4：高い　3：どちらともいえない　2：低い　1：非常に低い

項　目	一次評価 評価	一次評価 判断理由	二次評価 評価	二次評価 判断理由
1　目的達成度	2	病気休職者が増えた	2	同左
2　事業構成の適当性	4	メンタルヘルスの充実が図れた。	4	同左
3　施策の有効性	4	健康相談等により元気を回復した職員がいる。	4	同左
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	職員衛生委員会より、庁舎内禁煙の答申が出ており、早い時期に、その対応が求められている。メンタルヘルスをより充実させ、心の病での休職者を未然に防ぐ。表彰事業については、記念品（旅行券）の見直しをする。		健康相談(メンタルヘルス)のフィードバックは可能ですか？ 厚生事業の見直しは？	
担当部長コメント	仕事（量・質）が増え、職員が削減されていく中で、事務の効率的な執行は勿論だが、「心の病」に陥らないよう、メンタルヘルスのほか、職場全体で職員をフォローしていく体制づくりを進める。			